

1 平成17年度財団法人浜松市文化振興財団事業報告

(1) 事業の概要

平成17年度は当財団にとりましては、財団法人アクトシティ浜松運営財団と財団法人浜松市文化協会が統合し、新たな財団として文化振興財団がスタートした節目の年であるとともに、指定管理者制度の導入に伴う新たな事業展開と効率的な法人運営が求められる年度となりました。

事業面におきましては、自主事業としてオペラ、ミュージカル、クラシック音楽、親子向け催事など、市民のニーズを考慮して幅広いジャンルの催事を開催し、いずれも良好な入場率と高い評価を得ることができました。平成18年度に開催される第6回浜松国際ピアノコンクールの準備事業も滞りなく進めることができました。また、前年度まで旧財団がそれぞれに行っていたサンクンプラザやフォルテガーデンを会場とした市民が主体となるコンサートなども、財団の統合によってより効率的運営、効果的宣伝が可能となり、多くの来場者を獲得するようになりました。

施設管理面におきましては、楽器博物館の増床工事、浜松科学館のプラネタリウム改修工事など大きな施設整備事業が完了しました。工事期間における来館者の減はありますが、リニューアルオープン後は両館とも多数の入場者数を記録しております。

なお、指定管理者制度導入に伴う事業提案の結果、浜松市教育文化会館、浜松復興記念館、浜松市茶室「松韻亭」は惜しくも次点となりましたが、新規に浜松市天竜壬生ホールの管理者に指定されました。浜松市天文台については直営となるため、管理を完了いたしました。

ア 芸術文化活動の企画、運営及び提供（参考資料P.3）

歌舞伎公演では「市川海老蔵襲名披露」が2回公演で行われ、ともに満席のお客様に楽しんでいただきました。オペラ公演は6月の「サロメ」、1月のニューイヤー公演はモーツァルト誕生250年の幕開けとして「ドン・ジョバンニ」が行われ、入場者の年齢層の広がりを感じられました。オーケストラ公演は「ドイツ・ナショナル・ユージェント・オーケストラ」「NHK交響楽団」「ゲルギエフ指揮・マリインスキー歌劇場管弦楽団」の3公演を行いました。親子で楽しめる「ミッフィーこどもミュージカル」「おかあさんといっしょ・ぐ〜チョコランタンがやってきた！」も共に予定席完売の盛況ぶりでした。

また、8月の「ブラスト」の3回公演はいずれも完売となり、熱心なファンが地元だけではなく首都圏、中京圏から詰め掛けました。

このほか、「浜松ジャズウィーク」、「浜松能」及び「はままつ演劇・人形劇フェスティバル」も市民から好評を博するとともに、新たに展示イベントホールを会場としたNew Voltage 2006も盛況でした。

イ 芸術文化活動の支援及び交流の促進（参考資料P.5）

市民団体を中心に関係機関が協力して「浜松市民文化フェスティバル」を開催するとともに市民や団体が実施する芸術文化事業に助成金を授与することにより芸術文化活動の支援を行いました。

ウ 文化振興を担う人材の育成（参考資料P.5）

「ジュニアオーケストラ浜松」及び「ジュニアクワイア浜松」の育成を通じて、将来を担う子供たちの育成を図るとともに、アクトシティ音楽院事業では世界で活躍する音楽家から市民レベルの音楽文化の担い手まで幅広く人材の育成を図りました。

エ 芸術文化に関する調査研究及び情報提供（参考資料P. 7）

会員数約6,500人の「アクトシティ浜松友の会」（ビバーチェクラブ）は、浜松の文化事業を支える中心的な組織に成長いたしました。会報誌（2ヵ月に1回発行）を中心に公演情報を提供しております。

また、マスコミ各社への情報発信を重ね、公演情報を中心に取り上げられる機会が増えております。

オ 地域社会の活性化に資する事業（参考資料P. 7）

5月は浜松まつりにあわせた「世界の縁日通り」、8月には「納涼まつり」、1月には「骨董市」を軸にアクトシティの賑わいを演出しました。地元団体・企業の出店など「浜松らしさ」を取り入れた企画・演出や実施内容を提言しました。

カ 浜松市の行う芸術文化事業の受託と協力（参考資料P. 8）

平成18年度に「第6回浜松国際ピアノコンクール」の開催をひかえ、関係者への広報活動を中心にした準備の期間でした。その間に、第5回大会の最高位者であったアレクサンダー・コブリンのヴァン・クライバーンコンテストでの優勝、ラファウ・ブレハッチのショパンコンクールでの優勝が伝えられ、マスコミへの情報発信ができました。このコンクールが世界的に認知されてきたことの表れでもあると認識するものであります。

そのほか第10回浜松吹奏楽大会や新「浜松市」誕生記念事業、パイプオルガンミニコンサートなど市の芸術文化事業を受託するとともに、市や関係機関と協力して音楽文化をはじめとした多彩な芸術文化の振興に努めました。

キ 公の施設の管理運営及び附帯事業

（ア）アクトシティ浜松（参考資料P. 9）

大ホール・中ホール・展示イベントホールの稼働率低下による利用料金収入が、前年度比6%減（4,000万円）となりました。一方で、利用状況に即した管理運営として、光熱費の見直し、電気料契約プランの見直し、安全面を維持しつつ保守点検回数の見直し等を行い、前年度より7%の管理費削減（7,000万円）ができました。

（ ）内は平成16年度実績

	利用料金収入(円)	当初予算額(円)	目標達成値(%)
大ホール	142,787,584	165,260,000	86.4%
中ホール	61,730,989	60,302,000	102.4%
展示イベントホール	74,106,898	73,674,000	100.6%
コンgresセンター	133,478,115	119,768,000	111.4%
研修交流センター	68,526,660	61,131,000	112.1%
屋外施設	427,140	—	—
地下駐車場	167,110,803	196,876,000	84.9%
合計	648,168,189 (689,407,409)	677,011,000 (672,033,000)	95.7% (102.6%)

（イ）浜松市楽器博物館（参考資料P. 13）

静岡文化芸術大学と初の共同企画によるレクチャーコンサートを実施し、外部機関との研究連携を進めました。レクチャーコンサート、楽器演奏ワークショップなどの「きく・ふれる」事業を充実しました。関西圏・関東圏など市外への広報を行い、入館者の増加を達成し、利用料金収入の大幅増収（対当初予算額）を達成しました。6月より始まった増床リニューアル工事は2月に完成し、3月21日のリニューアルオープン後の入館者数は大幅増となりました。

()内は平成16年度実績

	利用料金収入 (円)	当初予算額 (円)	目標達成値 (%)	備考
観覧料収入	15,920,780	13,814,000	115.3%	
入場料収入	1,911,900	1,500,000	127.5%	レクチャーコンサート ワークショップ
図書等販売収入	5,383,337	1,200,000	448.6%	
合計	23,216,017 (28,330,710)	16,514,000 (23,155,000)	140.6% (122.2%)	

(ウ) クリエイト浜松（文化コミュニティセンター及び中部公民館）（参考資料P. 14）

クリエート浜松（文化コミュニティセンター・中部公民館）の利用状況におきましては、文化コミュニティセンター施設のギャラリー等の利用が増加し、全体の利用状況は前年度より、件数（392件増）、人数（94,197人増）、回転率（2.6%増）ともに向上いたしました。使用料も約170万円の増額となりました。

(エ) 浜松市教育文化会館（はまホール）（参考資料P. 16）

練習室の稼働率は49.9%と低かったものの、リハーサル室は58.9%、ホールは58.0%と比較的好調な稼働率でした。特に、夏に吹奏楽部の練習を行う高等学校と秋に遊戯会を行う幼稚園が毎年の固定顧客となっております。また、練習室は、音楽練習のほかにフラメンコやジャズダンス、カラオケなどの多岐にわたる内容の練習会場として多数の市民にご利用いただきました。

(オ) 浜松復興記念館（参考資料P. 18）

会議室の稼働率は14.4%と低迷しましたが、地元団体だけでなく、東京からの利用団体もありました。

観覧者数につきましては、平常展に5,818人、恒例の夏季特別展（写真展・語り部・すいとん試食）には658人が来館されました。また、課外授業の会場としても多くの小学校に利用され、浜松の戦後復興について理解を深めていただきました。

(カ) 浜松市茶室「松韻亭」（参考資料P. 19）

例年開催の茶道入門講座は大変好評で、今年度も一般市民を対象とした入門講座に30名、子どものための講座に20名と予定していた人数を超える多くの参加者を得ました。秋の市民茶会ではラジオや新聞等に積極的に紹介することにより1,267席の来場者があり、多くの市民に気軽にお茶を楽しんでいただきました。

(キ) 浜松科学館（参考資料P. 20）

学校5日制対応事業や子どもの居場所づくり推進事業では、科学講座、もの作り講座の充実を図りました。特に「こども講座」「みんなあつまれ講座」には、昨年度比5倍にあたる2,444人の子どもたちの参加を得ることができました。これは、文部科学省指定事業「地域子ども教室推進事業」（平成16年度から3年間）で国庫補助を受け（平成17年度約400万円）、講座内容の見直しを図ったり、科学やもの作りを得意とする地域の人材を講師として招いたりしたことが大きな要因と考えられます。

学校との連携事業では、出前講座「ゴーゴーおもしろサイエンス」で44校を訪問し、3,243名（昨年度比3倍）の児童に科学のショーを体験してもらうことができました。特に新市誕生に伴い広く北遠地区まで出かけたことが、広報活動にも大きくつながりました。

また、プラネタリウムリニューアルオープンにより新システムをフルに生かした投影を行うことで、現在も多くのお客様に喜んでいただいております。

(ク) 浜松市天文台（参考資料P. 23）

（財）日本宝くじ協会の助成を受け、移動天文車「きらきら号」を配備することができました。移動天文教室での人気は高く、教室の実施回数は35回以上と昨年の実績を大きく上回りました。また、市町村合併により広域への広報が可能になり、周辺部からの来台者数が増加しました。

(ケ) 浜松こども館（参考資料P. 24）

平成17年度は、平日の主な来館者である「乳児と保護者」を対象とした事業の充実（はじめてのことばあそび、ハイハイくらぶ、ヨチヨチくらぶ など）と、異年齢交流と子どもの創造性を育むことを目的とした造形遊び『カプラ』を取り入れた事業の展開を図るなど、前年比約1万人増の事業集客数を達成いたしました。また、市民協働と健全育成を目的とした中高生ボランティアが主体となった事業『マジカルクリスマス』を今年度初めて実施いたしました。

(コ) 浜松文芸館（参考資料P. 26）

浜松市在住の「作家三人展」、春休み特別企画「読み聞かせ展」、絵本作家の「スズキコージズキン展」等、趣向を凝らした特別展を開催し、好評を博しました。中でも「スズキコージズキン展」は、幅広い年齢層の方々の観覧があり、観覧料収入は前年比202.5%の伸びとなりました。

また、自主事業の講座も、毎回定員を満たす、あるいは上回るほどの受講希望者があり、市民の文化意識向上の一助を果たせました。

(サ) 木下恵介記念館（参考資料P. 27）

今年度新たにスタートした木下恵介DVD上映会は、12回開催しました。従来のビデオにはない作品も上映することができ、来館者には喜ばれました。子役で出演した方に当時の様子を語ってもらうなどの企画も好評を博しました。

出前ビデオ上映会、浜松こども館児童アニメ上映会、「50年前の浜松を歩く」（木下恵介ゆかりの地を訪ね歩く企画）など、館外での活動も積極的に行いました。

ク 埋蔵文化財の発掘及び調査（参考資料P. 28）

旧浜松市内の遺跡だけでなく、旧引佐町内の北神宮寺遺跡など14遺跡の発掘調査や整理作業、報告書の作成を行いました。

(2) 会議に関する事項

ア 理事会議決事項

議決番号	開催年月日	件名
第25号	17.6.6	平成16年度財団法人アクトシティ浜松運営財団補正予算について
第26号	17.6.6	平成16年度財団法人アクトシティ浜松運営財団事業報告及び収支決算について
第27号	17.6.6	平成17年度財団法人浜松市文化振興財団補正予算について
第28号	17.6.6	財団法人浜松市文化振興財団職員給与規程の一部改正について
第29号	17.6.6	財団法人浜松市文化振興財団嘱託員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について
第30号	17.12.21	財団法人浜松市文化振興財団評議員の選任について
第1号	18.3.22	平成17年度財団法人浜松市文化振興財団補正予算について
第2号	18.3.22	財団法人浜松市文化振興財団組織規程の一部改正について
第3号	18.3.22	財団法人浜松市文化振興財団所管施設業務規程の一部改正について
第4号	18.3.22	財団法人浜松市文化振興財団公印規程の一部改正について
第5号	18.3.22	財団法人浜松市文化振興財団就業規程の一部改正について
第6号	18.3.22	財団法人浜松市文化振興財団職員給与規程の一部改正について
第7号	18.3.22	財団法人浜松市文化振興財団会計規程の一部改正について
第8号	18.3.22	財団法人浜松市文化振興財団職員旅費規程の一部改正について
第9号	18.3.22	財団法人浜松市文化振興財団職員退職手当支給規程の一部改正について
第10号	18.3.22	財団法人浜松市文化振興財団嘱託員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について
第11号	18.3.22	財団法人浜松市文化振興財団職員等の育児休業等に関する規程の一部改正について
第12号	18.3.22	財団法人浜松市文化振興財団職員等の介護休業等に関する規程の一部改正について
第13号	18.3.22	浜松市文化コミュニティセンター及び浜松市中部公民館利用料金規程の制定について
第14号	18.3.22	浜松文芸館及び木下恵介記念館利用料金規程の制定について
第15号	18.3.22	浜松科学館利用料金規程の制定について
議決番号	開催年月日	件名
第16号	18.3.22	浜松こども館利用料金規程の制定について
第17号	18.3.22	平成18年度財団法人浜松市文化振興財団事業計画について
第18号	18.3.22	平成18年度財団法人浜松市文化振興財団予算について
第19号	18.3.22	財団法人浜松市文化振興財団評議員の選任について

イ 評議員議決事項

議決番号	開催年月日	件名
第2号	17.12.21	財団法人浜松市文化振興財団理事の選任について
第1号	18.3.22	財団法人浜松市文化振興財団監事の選任について

(3) 役員に関する事項

ア 役員（平成18年3月31日現在）

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	庄田 武	評議員	石村和清
副理事長	丹羽稔夫	評議員	鈴木富士男
常務理事	川上正芳	評議員	内山知一
理事	中山正邦	評議員	内山智一郎
理事	伊藤修二	評議員	金原 淳
理事	河合弘隆	評議員	加藤幸博
理事	山内啓司	評議員	小楠達司
理事	鈴木敬彦	評議員	堀田千秋
理事	藤田賢龍	評議員	仁科庄一
理事	斉藤佳枝	評議員	戸川 泉
理事	林 司朗	評議員	小田木清種
理事	杉田 豊	評議員	高松良幸
理事	須藤京子	評議員	西田かほる
理事	宮本武彦	評議員	石田美枝子
監事	大石清美		
監事	鈴木不二		

イ 役員の変動

(ア) 就任

役職名	氏名	就任日	役職名	氏名	就任日
理事長	庄田 武	17.4.1	評議員	石村和清	17.4.1
副理事長	丹羽稔夫	17.4.1	評議員	鈴木富士男	17.4.1
常務理事	川上正芳	17.4.1	評議員	内山知一	17.4.1
理事	中山正邦	17.4.1	評議員	内山智一郎	17.4.1
理事	伊藤修二	17.4.1	評議員	山口永夫	17.4.1
理事	河合弘隆	17.4.1	評議員	加藤幸博	17.4.1
理事	山内啓司	17.4.1	評議員	小楠達司	17.4.1
理事	鈴木敬彦	17.4.1	評議員	堀田千秋	17.4.1
理事	藤田賢龍	17.4.1	評議員	村松夏夫	17.4.1
理事	佐藤暁美	17.4.1	評議員	戸川 泉	17.4.1
理事	林 司朗	17.4.1	評議員	小田木清種	17.4.1
理事	杉田 豊	17.4.1	評議員	高松良幸	17.4.1
理事	龍口伸子	17.4.1	評議員	西田かほる	17.4.1
理事	宮本武彦	17.4.1	評議員	石田美枝子	17.4.1
理事	須藤京子	17.12.21	評議員	金原淳	17.12.21
理事	斉藤佳枝	17.12.21	評議員	仁科庄一	18.3.22
監事	村松尋代	17.4.1			
監事	鈴木不二	17.4.1			
監事	大石清美	18.3.22			

(イ) 辞任

役職名	氏名	辞任日	役職名	氏名	辞任日
理事	龍口伸子	17.12.21	評議員	山口永夫	17.12.21
理事	佐藤暁美	17.12.21	評議員	村松夏夫	18.3.22
監事	村松尋代	18.3.22			

(4) 職員に関する事項

区 分	人数()は兼務		備 考
	平成17年3月31日現在	平成18年3月31日現在	
事務局長	1	-	
総務部長	(1)	1	事務員1(うち浜松市職員1)
課長	-	1	事務員1(うち浜松市職員1)
主幹	1	0	
主任	4	3	事務員3
係員	15	3	嘱託員3
事業部長	1	1	事務員1(うち浜松市職員1)
課長	-	2	事務員2(うち浜松市職員1)
主幹	1	0	
主任	3	7	事務員7
係員	8	11	事務員5 嘱託員6
施設部長	-	1	事務員1(うち浜松市職員1)
課長	-	1	嘱託員1
主任	-	1	事務員1
係員	-	11	嘱託員11
アクトシティ浜松管理課長	-	(1)	施設部長
主幹	-	1	事務員1(うち浜松市職員1)
主任	-	4	事務員4
係員	-	8	事務員8
楽器博物館長	1	1	事務員1(うち浜松市職員1)
主任	2	2	事務員2
係員	6	7	嘱託員7
音楽院事務長	(1)	-	
係員	3	-	
クリエート浜松館長	-	1	事務員1(うち浜松市職員1)
主任	-	1	事務員1
係員	-	7	嘱託員7
科学館館長	-	1	嘱託員1
主幹	-	1	事務員1(うち浜松市職員1)
主任	-	4	事務員4(うち浜松市職員3)

係員	—	19	嘱託員19
こども館館長	—	1	嘱託員1
主幹	—	1	事務員1(うち浜松市職員1)
係員	—	15	事務員4 嘱託員11
文芸館館長	—	1	嘱託員1
係員	—	2	事務員1 嘱託員1
木下恵介記念館館長	—	1	嘱託員1
係員	—	1	嘱託員1
計	46	122	
会計責任者	(1)	(1)	総務部長
出納員	(1)	(10)	課長及びアクティビティを除く館長